

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		おひさまCLUB		公表日		2026年 1月 30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム分けにより、部屋を広く使えるようにしている。 ・天気の良い日は積極的に外での活動をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋の使い方を工夫して活動が充実するようにしている。 	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの必要な支援の状況により、職員が1対1の対応でクールダウンを図っている。 ・その際ほかのこどもに影響がないように、他職員が丁寧にみている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き適切な職員配置を徹底していく。 	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋をマットやテーブルなどで空間を区切って、遊びごとの場所がわかりやすい。 ・洗面所（並ぶ場所）には足型があり、待つ場所が分かりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・段差は極力配慮を行い、段差がある場合はクッションバーを置かずきにくくする配慮をしていく。 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の清掃、消毒を行っている。 ・利用時間中、定期的に換気を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・備品の状態においても定期的に確認を実施している。 ・同室内の1区画を安心する空間を準備している。 	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・クールダウンが必要な時は、素早く室内の環境設定を行い、ゆっくりと過ごせるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こども達が安全・安心して活動できるように部屋の構造化をしている。 	
	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの姿から、次回以降の対応の仕方について職員で意見交換をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の最後に振り返りの時間を設け、こどもの特定の行動の前後の情報についても、共有し記録している。 	

業務改善	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・ご意見を真摯に受け止め、改善案を職員で話し合っている。	・話し合っただけで改善案を実行し、業務改善に努めていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・改善点を職員間で出し合って次回の活動に繋げている。	・職員個人の面談やふりかえりの時間を設けていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	・第三者による外部評価は行っていない。	・他事業所の職員と活動内容の共有や事例検討会を行い全職員で話す機会を設けている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・施設内外の研修に参加している。	・年3回の法人内研修を年間で開催している。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・プログラムをHUGで公表し、活動のねらいを合わせて伝えている。	・プログラム公表はHUGで通知されているが見ておられないこともある。必要な方には個別に声掛けをしていく。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	1	・保護者様や子どもから聞き取りをしたニーズをもとに、職員間でカンファレンスを行っている。	・子どもの主体性を意識して計画作成に努める。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・計画作成にあたってカンファレンスを行っている。	・子どもの特性や必要な支援について、関わる職員へ共通理解に努めていく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	・日々のサービス提供記録を見る機会が減ったが、支援内容はよく見るところにあって分かりやすい。	・計画を更新した際には、全職員に内容を共有して支援方法を統一している。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・パソコンでの管理になり、記録を見る機会が減ったが、口頭で共有している。	・HUGのケア記録を記入し、子どもの変化等で必要な部分はアセスメントの記録に追加する。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に面談の機会を持ち相談を受けることで、丁寧な家族支援に努めている。 どの分野においても支援項目を吟味しながら表記している。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域で安心した生活をおくるためにアセスメントを十分に収集することに努める、地域との交流の機会が少ないので今後検討していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 意見を出し合ったうえで、プログラムの活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員間で自由に意見を出し合い、こどもの特性に合った内容へと更に良くしていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 他事業所と情報共有し、活動に取り入れている。 積み重ねの為、特に運動は同じ活動を続けることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> こどもの発達につながる活動だけでなく、こどもの思いが叶う活動も取り入れていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> こどもによって差はあるが、それぞれに必要な支援を計画に取り入れ、実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画の内容を職員が周知し、こどもそれぞれの課題が達成できるようにしていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 日案をもとに職員各自の動きについて、打ち合わせの時間を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 打ち合わせの際に新たな気づきがあれば日案に追加し、職員間で共有していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 活動後に必ず打合せ・振り返りを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> どの職員にも日案の記録をもとに情報共有を行っていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 実行した支援について、改善点を記録し職員間で共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動後、支援中に変更または追加した内容があれば書き加えておく（活動に実際にかかった時間等も有用）。
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> 6ヶ月ごとの個別支援計画の更新の際に、保護者様のニーズを再確認して計画の見直しを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者様のニーズをもとにカンファレンスを行い、適切な支援へと繋げていく。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 地域支援として地域交流の提供機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣施設や公共交通機関等、地域の方と触れ合う機会を検討していく。 	

	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・おやつの要・不要など、簡単な選択を始め、こどもが選ぶ機会を多く設けている。	・引き続き、大小さまざまな自己選択、自己決定の機会を作っていく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・児童発達支援管理責任者や担当者が会議へ参加している。	・今後も積極的に担当者会議等に参加していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・学校を中心とした関係機関との連携会議を設けている。	・保護者様の要望など必要に応じて会議の場を設けていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	・基本的に保護者様を通して連携を取っているが、サポートが必要な家庭は、利用日の連絡等を職員から学校に伝えている。	・送迎時や電話での情報共有を行い、滞りなく連携していく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	・児童発達支援事業所との引継ぎを行い、支援の手立て等を共有している。	・引き継ぎの内容をもとに担当者でアセスメントやカンファレンスを行い、こどもの理解に努めていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	・該当者なし。	・今後、移行支援が必要になった場合は情報等を提供していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	5	・現在連携の機会が無い。	・研修等の機会があれば積極的に参加していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	・公園で地域のこどもと交流する際は、こども同士のやりとりを見守り、支援している。	・利用曜日（時間）との兼ね合いで、児童館の利用は出来ていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4	・現在協議会への参加はしていない。 ・協議会発信の研修に参加している。	・協議会等の機会があれば積極的に参加したい思いである。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・主に送迎時に様子の聞き取りと施設内での様子の報告をしている。 ・課題達成等については、面談をとり丁寧に説明をしている。	・必要に応じて面談をとり、情報のすり合わせと課題の更新について伝えていく。

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	・家族様向けの講演会や、事業所の保護者会などで子育てについての情報提供をしている。	・引き続き研修等の機会提供を行っていく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・見学時と契約時に説明をし、内容の更新等があれば丁寧な説明を行う。	・内容の更新があれば、紙面と対面にて保護者様に説明していく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・定期的に面談の機会をもち、こどもや家族様の思いを確認している。	・引き続き、こどもや家族様のニーズを計画に反映させていく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	・保護者様との面談を取り、支援内容を具体的に分かりやすく説明している。	・保護者様のニーズが反映されていることを確認しながら、計画の内容を丁寧に説明していく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・送迎や電話で聞き取りを行い、必要に応じて面談の機会を設ける。	・送迎時の聞き取りから気になる内容があれば、面談を取り深く話を聞いていく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	・子育てについての講座や相談会を実施している。	・引き続き、保護者会等の機会を提供していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・適切な対応を取るよう心がけている。	・対応について、すみやかに職員に周知していく。 ・苦情の申し立てに対してご意見を慎んで受け止め最良の改善を速やかに行う。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1	・月2回以上のブログ更新を行っている。	・ブログやHUGの活動記録での情報発信をしていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・個人情報やこどもの写真が載っているものはシュレッダーにかけてから廃棄している。	・引き続き個人情報の取り扱いには十分配慮をしていく。

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・子どもの特性に合わせて、必要な視覚支援を取り入れている。	・HUGのサービス提供記録（要望があれば紙ベースの連絡帳）を当日中に記入し、活動の様子を共有していく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5	・地域住民の招待は現在行っていない。	・まずは近隣の散歩や戸外活動の際は、挨拶を交わすことで事業所の存在を知っていただく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	・各マニュアルを作成し、職員に内容を周知している。 ・緊急時対応すべき事案（感染症等）については、対応について書面を保護者様に配布し周知している。	・緊急時の対応について、個別支援計画に記載していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・学期に一回の避難訓練を実施している。	・学期に1回の訓練を続けていく。 ・様々な状況を想定した内容を実施する。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・契約の際に、既往歴の確認をしている。 ・対応や記録の仕方についての具体的な内容を職員間で共有している。	・定期的な面談の際に、服薬等変更が無いか確認をしていく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・契約の際にアレルギーの有無を確認している。	・契約時にアレルギーの有無を確認し、定期的な面談の際に変化が無いか確認していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・計画の内容を職員間で周知している。	・安全計画に沿って、研修や訓練を定期的実施していく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・こどもが安全に過ごすことが出来るよう、施設内での取り組みについて丁寧に説明している。	・安全確保に関する必要事項を個別支援計画に記載していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・事故等の際に書面で報告を提出し、対策を共有している。	・事故等の際には速やかに報告を行い、対策を講じ、共有していく。

	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止委員会を設置し、マニュアルを作成、職員に周知している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に虐待防止委員会を開催し、研修の内容等を職員に共有していく。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所で決定した内容をもとに、丁寧に保護者様に説明を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束について個別支援計画に記載し、保護者様に丁寧に説明をしていく。